

平成31年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立竜王南小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・(数学)／(英語)に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。(英語・理科は、3年に1度の調査となります。)

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語、算数ともに平均正答率は全国とほぼ同程度であり、一定の定着がみられます。
- ・国語では、特に漢字の読み書きについて、全国平均を上回り、日頃からの継続した取組の成果がみられます。一方で「話すこと・聞くこと」については、話し手の意図を捉えながら聞いたり、目的に応じて質問を工夫したりすることに課題がみられます。
- ・算数では、「数量関係」について、棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取る問題や、日常生活の事象から伴って変わる二つの数量を見いだす問題等において、全国平均を上回りました。しかし、「数と計算」の四則の混合した整数と小数の計算の処理に戸惑う児童が見られました。
- ・国語、算数ともに全国との差が縮まってきており、改善がみられます。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向がみとめられる項目
全国の値に比して、「将来の夢や目標を持っている」「人が困っているときは、進んで助けている」等について高い数値を示しています。特に「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の問いに対しては、全員の児童が「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答しています。
- ・課題となる項目
「学校の授業以外の学習時間が30分より少ない」「一日あたりの読書量が10分より少ない」とした児童の割合が高いです。また、「朝食を食べないときがある」と回答した児童もいて、課題です。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・今後も、校内研究の成果を生かし、子どもたちのよさのみとりに努め、一人ひとりの子どもの学習に取り組むやる気を喚起していきます。また、学習のルールを整え、学習に集中できる授業づくりに取り組みます。
- ・「話すこと・聞くこと」の学習では、子ども同士で対話的に学び合う機会をつくり、話し手の意図を理解したり、目的をもって話したりできる授業を行っていきます。
- ・「数と計算」の学習では、朝の活動や午後のモジュール(短時間学習)の時間を活用して、基礎基本の確実な定着を目指し、四則計算のドリル学習等を積極的に行っていきます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・学年×10+10分以上の家庭学習の習慣が身に付くように、「家庭学習の手引き」を活用し、子どもたちが自ら学習に取り組めるよう声をかけてあげてください。
- ・親子でいろんな本を読んだり、音読を聞いてあげたりして、読書の機会を増やしてあげてください。
- ・早寝早起き朝ご飯を合い言葉として家庭における子どもの生活リズムを整え、学校での学習に集中して取り組めるようにしていきましょう。